

申請者はがんで死亡

堺労働基準監督署は二 堺市内の病院に入院し
十四日、「悪性胸膜中皮 た。ゴムが互いにひつつ
腫(しゅ)胸膜のがん」 かないようにするため、
で今年二月、七十四歳で ゴム工場では、アスベス
死亡した大阪府堺市大浜 トを含むものもあるタル
南町一、大塚信太郎さん クを、打ち粉としてまい
について、「発病はタル ている。大塚さんは昨年
ク(滑石)に 七月、労災補償
含まれていた を申請した。

堺労働基準署

同労働基準署は
「アスベストを
吸わないと起こ
らない症状で、
作業内容につい
て第三者の証言
も得られたの
で、認定した」
と説明。

アスベスト被害 認定も労災もタルク吸引も

仕事でアスベ
ストを吸い肺が
ん、悪性中皮腫
などになった人
は七八年の労働
基準局長通達以
降、労災保険の
補償を受けられ
る。しかし、因果
関係がつかみに
くいこともあり、九〇年
までの十三年間で労災認
定を受けた人は百十人。

因で発病した
人は相当いるとみられ
る。同様の原
因で発病した
品まで幅広く
使われている
。同様の原
因で発病した
人は相当いるとみられ
る」としている。

大塚さんは一九四二年
から六二年まで、大阪市
内のゴム製品製造会社で
生ゴム加工の仕事に従
事。八〇年代の後半から
息苦しいなどの自覚症状
が出始め、九〇年一月、
横山邦彦・元国立療養
所近畿中央病院副院長は
「タルク中のアスベスト
で悪性中皮腫になった例
は学会にも報告例がな
い」と話している。